



広報～風・菜・樹

# ふなき便り



● 社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

## 外出を楽しんで!



梅雨に入る前の、過ごしやすく暖かな時季に、旅行やハイキングといった外で楽しむ行事を行いました。



## 福岡県に行きました!

ハイツふなきでは5月の恒例行事、バス旅行で福岡県へ行ってきました。

まずは明太子の製造工場に行き、完成するまでの工程を見学してきました。皆さん、工場のスタッフの説明を興味津々に聞いておられました。また、試食コーナーではどの明太子が美味しいのかを皆さん真剣に選ばれ、帰り際にはマスコットキャラクター「かわりみ千兵衛」と記念撮影をして大変盛り上がりしました。

昼食の中華バイキングも皆さんに好評で、お腹いっぱい食べておられました。

午後からは芝居小屋「嘉穂劇場」と筑豊の炭鉱王と呼ばれた実業家「伊藤伝衛門」の邸宅の見学をし、「嘉穂劇場」では実際の衣装を着たり、舞台裏を見たり、普段出来ない事をさせていただきました。

「伊藤伝衛門邸」は歴史を感じることでできる建物で、広い庭園を見た利用者さんからは「手入れが大変だろうねえー」との声も聞かれました。

年1回のバス旅行。利用者さんにどれだけ喜んで頂けるか考え、企画しました。当日は天候が心配でしたが、好天の中無事に旅行を終え、利用者さん・職員共に笑顔になった一日でした。

楽しい思い出がたくさんできました!



## 公園へ散策をしてきました。

晩春の陽気の下、散策を楽しみました



ヴィラふなきでは、余暇活動として山陽小野田市の江汐公園へハイキングをしてきました。

江汐公園といえばツツジが有名ですが、今回はバラ苑を散策しました。バラが見頃でとても良い香りで、参加者からも「このバラを香水にしたらいいだろうね」と感想がありました。江汐公園の長いコースを散歩された方もいて、良い運動にもなりました!

お昼には、みなさんお楽しみのお弁当を食べ、ゆっくりとした時間を過ごしました。段々と暑くなってきましたが、天気の良い日は外で活動するのも良いですよ!

参加者の皆さんも満喫し、良い時間を過ごせました。

# 職員勉強会 ～バーチャルハルシネーション～



今回の職員勉強会では統合失調症に対する疾患教育の一つとして、ヤンセンファーマ株式会社様が制作された「バーチャルハルシネーション」というツールを使って実施しました。「バーチャルハルシネーション」とは統合失調症の急性期にみられる症状を疑似体験し、理解を深めるための疾患教育のツールで、過去の職員勉強会でも体験学習を行ないましたが、新しい職員も増えてきた事もあり、再度実施致しました。

ツールの動画内では出現頻度が高い幻聴をメインとして扱っており、参加者からは「利用者がどんな思いで幻聴を聞き、過ごされているかを体験できた」、「今後更に利用者の気持ちに寄り添って支援していきたい」との感想がありました。

今後更に多様化する障害者支援ではありますが、再度基礎知識を習得することで改めて見えてくる支援もあります。今後も職員勉強会で更に障害について理解を深めていきます。

# 山口大学医学部保健学科 精神看護実習

## グループ討論の様子。



- グループ討議。熱心に話し合います。



- 発表用資料の作成。



- 資料の完成。



- 発表の様子。グループごとに特徴がありました。

生活支援センターふなきでは、5月19日から7月30日まで山口大学医学部保健学科の看護学生の方が実習の一環で相談支援専門員の業務を通して、精神障害者の方が地域で生活されている様子やこういった社会資源や制度があるか、などを学習されています。

金曜日には学生さん達がグループワークを行い、看護師の立場としてどのような関わりができるかなど振り返りが行われています。

看護学生の皆さんが今回の実習で経験されたことを活かして、将来看護師として活躍されることを期待しています。

## <学生さんのコメント>

- ・病棟とは違う視点で当事者の方を見る事が出来て良かった。
- ・サービスを利用することが当事者の方が生活することの安心感につながっていると感じた。
- ・相談支援専門員の資格や制度があることを知らなかった。

# 宇部市障害者安心緊急支援事業



常に空床を確保することで緊急時の対応を可能に。

今年度より、ハイツふなきは、宇部市の障害者安心緊急支援事業（緊急ショート）の委託を受ける事になりました。

障害者安心緊急支援事業（緊急ショート）とは、在宅の障害者で、介護者の疾病その他の理由により介護を受ける事が出来なくなる等緊急に支援が必要となった場合に、ショートステイを利用して頂くものです。主な対象者は宇部市にお住いの18歳以上65歳未満の在宅障害者で障害福祉サービスを利用していない方です。

利用希望や詳細を知りたい方は、宇部市健康福祉部障害福祉課またはハイツふなきへお問い合わせください。

# 害虫駆除！



快適な住環境になるよう一生懸命行いました。

気候が暖くなり、草木は伸びるのが大変早く、また生き物たちの動きも活発になってきました。

ヴィラふなきでは生活されている利用者さんにとって安心で快適、かつ衛生的な住居空間を提供する為にこの6月に居住内の害虫駆除を行いました。

具体的には噴霧剤を使用し、各居室・リビングや台所といった共同スペースに設置。3時間程の噴霧の後に換気を行ないました。

換気後に居室と共同スペースを利用者さん・職員協働で念入りに清掃し、害虫駆除が完了しました。

ハイツふなきでも害虫駆除を行いました。利用者さんには、噴霧剤が効果的に室内に行き渡るよう、前日から居室の荷物整理に取り組んでいただきました。そのおかげで、駆除の段取りをスムーズに進めていくことができました。

殺虫剤の噴霧中には、地域の体育館で昼食とスポーツを楽しみました。スポーツサークルの利用者さんが主体となって活動しました。

帰所してからは、事業所内の清掃をしたり、居室のカーテンを夏物に替えたりと大忙し！一生懸命、協力しながら取り組みました。

半日以上かかった行事でしたが、キレイになって気分一新、気持ちよく夏を迎えることができそうです。

# 事業所周辺を美しく。



建物周りの除草！

新緑の季節、草木が生い茂ってきましたので、ハイツふなきの田中活動で事業所周辺の環境美化を行いました。草取り鎌を片手に草抜きをしたり、掃き掃除をしたりと真剣に取り組まれていました。また草取り中、てんとう虫やトカゲなどの生き物を発見し、利用者さん同士で楽しめる場面も見られました。

「自分たちの住環境を自分たちで整える」。大変なことでしたが、それだけに達成感や充実感があつたようで、「キレイになると気持ちがええね」との感想や、「できなかったところもやりたい！」と意欲的な声を聞くことができました。

# スタッフちゃんねる



はじめまして。5月からハイツふなき配属になりました、永田好美です。

この春、我が家の軒下に2羽のツバメがせっせと巣をつくり始めました。雛が生まれ、巣立つまで、ツバメの観察がちょっと楽しい日々です。私も仕事と子育てを頑張ろうと思います。

就労支援の職員として、みなさんと一緒に励まし合いながら日々の作業を頑張りたいと思っています。

また、いろんな行事に参加しお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

# サムラ新商品 & 夏のメニュー!

## ● 挽きたてコーヒー



テイクアウトも出来るコーヒーの販売を開始しました。注文を受けてから豆を挽くので、香りも味も味わい深いものとなっています。

値段は1杯100円（ホット・アイス）となります。ぜひいかがでしょうか？

## ● そうめん・やまかけそば



今年もそうめんとやまかけそばを販売します！これから暑くなるこの季節、冷たいものはいかがでしょうか？

そうめん・・・450円（大盛り550円）

やまかけそば・・・400円

その他、いろいろとメニューを取り揃えておりますので、ぜひお越しください。

## 今月のエソラゴト

恥ずかしながら幼稚園に通う我が息子の話。ある日の夕方のこと、近所のお友達と遊んでいた息子。みんなで地面をじっと見つめて何かを観察していました。しばらくすると、息子が「やめーや」「かわいそうじゃーや」と大きな声を出して、一緒にいた子と小競り合いを始めました。そして、観察していたモノを家に持ち帰ってきたのです。見ると名前もわからない小さな虫。息子は、虫かごにその虫を入れ、「家で飼う」と庭の土や草と一緒に入れていました。その名前も知らない虫は、すぐに「アトラス」という立派な名前を与えられました。事情を聞くと、虫を観察していたら、一緒にいた子が虫をいじめて、踏み殺そうとしたから助けた、とのこと。命を大切にすることが大切で行動は大いに褒められた上で、しかし名前もわからない小さな虫は飼育方法もわからないし、すぐに死んでしまうかもしれないので庭に帰してあげよう、と息子に提案し、息子も渋々納得して「アトラス」は庭に帰っていききました。

誰しも幼児期には残酷性を持っています。もちろん本能としての悪意のない残酷性です。だから、無意味に虫を殺してしまうこともあります。そこに周囲の大人たちが、虫にも命があることを教え、それをされたら痛いのだということを学ばせる。生き物と接していく中で、繰り返し、周囲から、あるいは生き物から直接教えられ、子供たちは成長過程で次第に倫理観や死生感を学んでいくものだと思います。

そんな折に目に飛び込んできた、山口県内の障害者施設における職員による虐待映像。全国放送のニュース番組で取り上げられ、世間に大きな影響を与えました。内部告発による映像に映っていたのは、悪意のある残酷な光景ばかり。身近なところで、こんなことが当たり前に行われている現実。ここの職員は、幼児がそうする様に、利用者さんを虫のように見て、扱っていたのでしょう。これは資格や専門性の問題ではなく、単純に人としての問題です。虐待をしていた職員にだって家族があるでしょう。これが自分の仕事ですと胸を張って家族に言っていたのでしょうか？自分の子供に、命の大切さや、人の痛み、苦しみについて教えることが出来ていたのでしょうか？残虐で仕方ありません。

ただ、批判することは簡単です。「自分たちはやっていないから、それで良い」で済ませては決まいません。私たちは、世間からの「どうせ氷山の一角」という厳しい視線を浴びることになります。その宿命を背負って、この現実をどう捉え、どう受け入れ、どう進むべきか…皆が我が事として真剣に怒り、悲しみ、そして悩むべきなのです。

（佐伯）

## CHECK!



扶老会

検索

〒757-0216 山口県宇部市大字船木 833

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業部

- ハイツふなき (0836)67-0188
- ヴィラふなき (0836)67-1883
- 生活支援センターふなき (0836)67-2464
- サムラ(レストラン・パン工房) (0836)67-0171

自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型  
グループホーム（介護サービス包括型）  
相談支援事業・日中一時支援  
就労移行支援・就労継続支援B型

ホームページ

<http://www.furoukai.jp/>

ブログ

<http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>